

定期乗車券（定期券）導入について

運行見直しの検討に基づき、次のとおり定期乗車券を導入する。

○ 運賃体系

	現行	変更後
普通運賃	100円	(変更なし)
回数乗車券	100円券11枚綴 1,000円	(変更なし)
定期乗車券	—	1か月3,000円
運賃割引	次の場合は無料 ・未就学児 ・障がい者手帳所持者 ・付添者	(変更なし)

運賃の検討

運賃	0円	100円（現行通り）	200円
県内自治体の状況 (路線別に集計)	8%	42%	24%
利用者アンケート結果 (払って良い運賃) ※無回答又は回答拒否44%	利用者の約0%	利用者の約21%	利用者の約33%
金額変更により見込まれる利用者数増減	増加見込みあり	増減なし	約40,000人減 ※有料利用者の約33%減
運賃収入の増減	11,631千円減 (運賃収入100%減)	増減なし	4,000千円増
評価	△	○	△
	運賃無料化により、利用者数は増加見込みになるが、収支率は大幅に悪化する	現状運行維持	収支率は向上するものの、利用者は減少見込みになり、運行目的(「市民の生活の足」「外に出かけたくなるまちづくりの推進」)に合致しない

⇒ 現行の運賃100円を維持する。

なお、運賃については、地域公共交通確保維持改善事業費補助制度（地域間幹線系統）の状況により改めて検討する可能性あり。

乗り継ぎによる負担軽減及び利用促進検討

種類	定期乗車券			1日乗車券	乗り継ぎ券
	販売額	月1,000円	月2,000円	月3,000円	日300円
購入が想定される利用者	月12回以上の利用者 (週2日以上、利用者の約52%)	月23回以上の利用者 (週3日以上、利用者の約36%)	月34回以上の利用者 (週4日以上、利用者の約23%)	日4回以上の利用者 (乗継利用かつ往復利用、利用者の約3%)	乗り継ぎ利用者 (乗継利用、利用者の約11%)
運賃収入	約180万円減	約70万円減	約17万円減	約8万円減	約130万円減
収支率	18% (3ポイント減)	20% (1ポイント減)	21% (現状維持)	21% (現状維持)	19% (2ポイント減)
販売・配布場所	市役所及び豊栄交通尾張旭営業所			市役所等 (回数券販売場所)	バス車内 (市役所バス停)
必要手続・提出書類	購入時に身分証(顔写真付き)の提示			不要	市役所バス停での乗り継ぎ時に乗務員への申告
乗務員の負担	負担なし			乗車券の確認や車内販売が乗務員に負担	車内配布のため乗務員に負担
懇談会での意見	定期乗車券や年間パスを求める意見は5件			1日乗車券を求める意見は1件	乗り継ぎ券や乗継無料を求める意見は6件
評価	○	○	◎	△	×

⇒ 1か月3,000円の定期乗車券を導入する。

○ 定期乗車券について

- ・導入予定年月日 平成28年4月1日
- ・販売場所 市役所及び豊栄交通尾張旭営業所(予定)
- ・スケジュール
 - 平成27年12月 市議会へ条例改正議案提出
 - 平成28年1月～2月 規則改正(定期乗車券の様式等)
 - 平成28年2月～ 周知
 - 平成28年4月 開始